



下田市議会だより

9月
令和6年
(2024)
No.91

- P 1～3 議会活動レポート／6月定例会ポイント
- P 4～6 総務文教委員会審査報告・産業厚生委員会審査報告
- P 7～9 市政を問う一般質問
- P 10 賛否の分かれた議案
- P 11 議案等の審議結果、表紙の情報、編集後記

浜崎小学校6年生の社会科授業に総務文教委員会で参加しました

6月24日(月)に「市民の願いを実現する政治」をテーマに行われた浜崎小学校6年生の社会科授業に総務文教委員会6人の委員が参加しました。

総務文教委員会委員の自己紹介、動画での新議場の紹介、議会の仕組みの説明、市議会議員選挙、県知事選挙及び市長選挙の投票率の説明の後、児童14人が5班に分かれて、提案の発表をしていただきました。

提案書	提案の内容
環境にやさしい街	下田の環境状況は徐々に悪化しているのではないかととの観点から、不法投棄防止やゴミ拾いのボランティア活動の実施、温室効果ガス削減のための環境に優しい、電気自動車の導入等の提案をしていただきました。
下田を元気にする	下田を元気にするためには、子育てに優しいことが必要として、給食費や通学費の補助や子ども達の遊び場の整備、黒船祭やアロハシャワー等以外にもイベントを開催して欲しいとの提案をしていただきました。
学べる下田	大学や専門学校で学ぶ場合は、下田を出なければならず、人口減少に繋がるとの観点から、市内への学校整備やオンライン授業の推進、下田の歴史や自然を学べる場所づくりの提案をしていただきました。
安心・安全な街づくり	市民が安心して楽しく安全に暮らすことができるように交通事故の無いまちにしたいとの思いから、道路の整備、歩道の拡幅、自転車専用道路の整備等の提案をしていただきました。
スポーツが盛んな街づくり	下田市の人口減少、スポーツ人口減少の観点から、遊休地へのスポーツ公園の整備、市民で行う体育祭の開催、スポーツ観戦者の増加のためにグラウンドへの観客席の整備等を提案をしていただきました。

この提案は、後日教育委員会を通じて市に届けられる予定です。

下田市議会議員の皆様、市議会事務局様

先日は、お忙しい中ありがとうございました。子供たちの簡単な感想です。よろしければ読んでいただけたらと思います。

- 発表で間違えてしまった時も、温かい目で見てくれて発表がしやすかったです。議員さんのお話も聞きやすく、おもしろかったです。
- 市議会議員の活動や仕事、選挙のことなどをよく知れてよかったです。自分の提案(スポーツ)も、アドバイスを聞いて少し改善するところがあるかなと思いました。
- 議場の中のことや会議の仕方を学ぶことができてよかったです。これまで自分で考えた提案を何度も練習したので、本番で議員さんに聞いてもらえてうれしい気持ちであふれています。
- 提案後の感想を聞くと、ぼくたちと議員さんの意見は似ていて、悩みも似ているんだと思いました。これからも意見をたくさん出していきたいです。
- 議員さんが何をしているか、何に取り組んでいるか知れたし、自分たちの話を聞いてもらえてよかったです。議員さんたちが、意外に身近な存在なことを知りました。
- 市議会の仕事、人数、議場のことなど詳しく知れてよかったです。議場での会議を目の前で見たり、聞いたりできると知りびっくりしました。
- 提案後に、議員さんたちが反応してくれたり、感想を言ってくれたりしてうれしかったです。議員さんの仕事に興味がありました。
- 最初は、「怖い人だったらどうしよう。」「大丈夫かな。」「堅苦しい感じかな。」なんて思っていました。話していくうちに、その印象がなくなりました。とても楽しい時間でした。
- 最初は、たくさんの方が来て緊張したけど、自己紹介でおもしろい話もしてくれて緊張しませんでした。今回提案したことがよい経験になりました。
- 自分たちが考えたことをしっかりと伝えることができてすっきりした2時間でした。
- 議員さんが、下田のために提案を聞き、話し合っていることがわかった。私たちの提案も少し伝わったような気がしたのでうれしかったです。これからも下田のことを考えたいです。
- 今回の下田市長選挙で、投票していない下田の人がいることを知りました。だから、みんなが投票するための工夫を考えました。1つ目は、どうして投票しなかったのかアンケートをとって情報を集める。2つ目は、動く選挙箱カーで各地区に行き、自宅に近い所で投票してもらうことで投票率が増えると思いました。



子供たちのために、快く引き受け、この会と一緒に作ってくださったことに感謝いたします。本当にありがとうございました。
浜崎小学校 6年担任 鈴木清和

議会運営のデジタル化特別委員会の取り組み報告

議会運営のデジタル化特別委員会が目指すこと

1. 議会運営の効率化・迅速化・・・ペーパーレスの推進、業務のスピード向上など
2. 議会の見える化・魅せる化・・・ICT 機器の活用、積極的な情報発信など
3. 危機管理体制の強化・・・災害情報共有、情報伝達迅速化、議会 BCP など

先進事例の視察報告

令和 6 年 4 月 26 日（金）、議会のデジタル化で先進的な取り組みを進めている神奈川県伊勢原市議会を訪問し、ICT 機器の活用状況等の視察と意見交換を行いました。



1. 視察先概要

神奈川県伊勢原市は、神奈川県のほぼ中央に位置し、人口は約 10 万 2 千人、市議会議員の定数は 20 人。同市議会においては、デジタル化を進める方向性を平成 29 年に決め、令和元年に検討部会を設置し、導入する ICT 機器や通信方法等を決定した後、令和 3 年 6 月定例会から本格運用を開始しています。本格運用までほぼ 4 年かけての準備でした。

2. 視察で確認したこと

◇通信等環境

- ・通信環境は、議会側は WiFi、執行部側は LGWAN、議場内外での使用を許可

◇タブレット等の導入

- ・執行部側の ICT 検討部会に議会側も参加して導入について協議調整

◇運用面全般

- ・「タブレット端末及びタブレット会議システム使用基準」等によるルールづくり
- ・議会資料についてはすべてデジタル化しているが一部は紙との併用
- ・機材の保守やメンテナンスは 5 年リースで契約

◇導入の評価・コメント等

- ・80 歳超の議員も十分に活用できており慣れることが最も重要
- ・庁舎外でも市民からの質問にタブレット内の資料で説明できる等様々なメリットがある

3. 総括

下田市議会における導入も問題なく可能であることを確認できました。今後は当局とも連携し、通信環境や端末、システムアプリや調達方法についても検討を進め、予算措置について財政当局との調整・折衝をし、導入に向けたスケジュールも定めていくこととします。

お知らせ

議会内会派の変更

柏谷祐也議員が、新たな会派「民希一進」を結成しました。

コメント：「市民の目線で希望の声を一つずつ進め、地域で暮らす住民であることを強く意識し、地域課題の解決、みなさまと安心して暮らせるまちづくりを目指し、若さと行動力で誠実に真っ直ぐに活動してまいります。」

議員の辞職、議会内会派の解散

長友くに議員は、6 月 16 日に下田市長選挙に立候補の届出をしたことから、公職選挙法第 90 条の規定により自動失職となりました。併せて、会派「緑のしもだ」も解散となりました。これに伴う、下田市議会議員の繰上げ当選や補欠選挙はなく、当面の間は議員 12 名での議会活動となります。

コメント：「この 1 年間市議として活動させていただき、下田の問題点、また発展の可能性をつぶさに見せていただきました。一市民に戻りましたが、下田のさらなる発展のために、目についたことを発言させていただきたいと思っております。ありがとうございました。」

— 6月定例会総括 —

会期を6月5日から6月11日までの7日間とし、条例2件、補正予算3件、報告1件、専決8件、人事2件、その他1件、意見書1件の18議案が上程されました。また、一般質問では6名の議員が14件の通告内容に基づき、市政全般の課題等を問いました。

上程された議案のうち、※専決処分に伴う報告議案、人事議案等については、先例により委員会に付託することなく即決による採決となりました。即決となった主な議案の内容は、省令改正に伴う介護保険サービス等に関する各条例改正、任期満了に伴う山田貞己教育長の再任、緊急を要した歳出及び債務負担行為（広域ごみ焼却施設訴訟代理人業務委託）に係る一般会計補正予算、法律改正に伴うマイナンバーカード等の取扱いに関する静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更などでした。

会期最終日、各議案に対し議員がそれぞれ賛成討論・反対討論を行い、全ての議案を原案どおり可決しました。なお、令和6年度一般会計補正予算（第3号）に対し提出された、伊豆縦貫道建設促進事業の不動産鑑定業務委託に係る歳出を削除する修正案は、賛成少数により否決されました。討論での主な意見は、P10「賛否の分かれた議案」をご参照ください。

議員発議では、議会運営委員長を提出者とし、各派代表者を賛成者とする「補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書の提出について」の議案を上程し、全議員が賛成し可決されました（※別記のとおり）。

【※の欄外注釈】

※専決処分とは？：議会が議決しなければならない事項を、市長が代わって意思決定することをいいます。時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などにできることとされています。

意見書

補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書

聴力に障害があり、障害者総合支援法の身体障害者障害程度等級2級～6級に該当する場合は補聴器が「補装具費支給制度」の対象とされているが、軽度・中等度難聴（児）者については、「補装具費支給制度」の対象となっていない。特に子どもにとって、聞こえは発達・学業にも大きな影響がある。また、成人にとっては仕事にも支障があり、高齢者にとっては、聞こえが認知症や命にかかわる。

軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等助成制度は、全ての都道府県で創設されているが、自治体によって制度の内容が大きく異なっている。また、成人・高齢者については、制度そのものがない自治体もある。どこの自治体に住んでいても、軽度・中等度難聴（児）者に対して十分な補助が行われるべきである。

よって、国におかれては、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要請する。

記

1. 国の財政負担により、全ての年齢における軽度・中等度難聴（児）者等に対する補聴器の購入費及び修理・維持費に対する補助を実施すること。
2. 補聴器の購入費及び修理・維持費の対象に下記を追加すること。
 - (1) 非難聴側が正常の片側難聴、高音急墜型、聴覚情報処理障害（児）者を加えること。
 - (2) イヤーモールド、両耳補聴器、無線式補聴援助装置、外耳形態異常に対する軟骨伝導補聴器を購入費の補助対象とすること。
3. 先天性難聴の早期発見のため、全ての自治体で新生児聴覚検査への公費助成を実施するよう、国が財政的援助を強化すること。
4. 病気による難聴の予防のため、おたふくかぜワクチンの定期接種化や、風しんワクチンの第5期接種の周知徹底と延長を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



総務文教委員会所管の主な審査項目を
紹介します。



令和6年度下田市一般会計補正予算（第3号）

物価高騰対応重点支援給付金事業 2億3,128万円

国が実施する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた、低所得者支援を行います。

給付金種別	予算額	交付対象	給付額
①新たに住民税非課税となる世帯への給付	4,500万円	新たに令和6年度住民税均等割の非課税のみで構成される世帯の世帯主	一世帯当たり 10万円
②新たに住民税均等割のみ課税となる世帯への給付	2,000万円	新たに令和6年度住民税の均等割のみ課税されている世帯の世帯主	一世帯当たり 10万円
③こども加算 (①と②への加算)	350万円	①と②の世帯に18歳以下の児童がいる場合	児童一人当たり 5万円
④定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方への給付	1億5,000万円	定額減税可能額が減税前税額を上回る（減税しきれない）と見込まれる所得税/住民税の納税義務者	一人当たり 所得税3万円以内 住民税1万円以内 (1万円単位)

自治総合センターコミュニティ助成金補助金

宝くじの収益を財源とした交付金を活用し、補助金交付等の事業を行います。

◆地域振興事業 260万円

外浦区放送設備の整備 160万円と吉佐美区掲示板の整備 100万円に対して補助金を交付します。

◆防災組織育成事業 60万円

須崎区自主防災会防災用ワンタッチテント2基の購入に対して補助金を交付します。

◆図書館管理運営事業 586万円（うち470万円が助成金）

学校や市内各所を訪問する移動図書館事業のため、約500冊の図書を収容できる、軽トラックを改装した移動図書館車を購入します。

※令和5年6月定例会において予算が可決されましたが、入札の不調により事業を取り止めたもので、今年度においても事業採択されたため、改めて購入するものです。



東京オリンピックパラリンピックホストタウン 推進協議会補助金 200万円

Sリーグ（日本プロサーフィン連盟のプロリーグ）のツアーが10月17日～21日まで市内で開催されることに伴い、推進協議会が目指すオリンピックレガシーづくりの一環として交流事業や地域イベントを開催するもので、Sリーグに参加するプロサーferと下田中学校サーフィン部との交流、物産展、地元特産品の景品の提供、記念グッズの作成、ビーチクリーンイベントやフォトストリート等の実施を予定しています。



小学校管理事業 空調設備設置工事 5,744万円

当初予算で市内7小学校の特別教室に空調設備を設置するための設計業務委託980万円が予算化されていましたが、国の学校環境改善交付金の交付決定があったため、工事費を計上したものです。

各小学校の整備予定教室は次のとおりで、9月に入札を実施し、完成は来年2月末の見込みです。

その他未設置の特別教室についても来年度以降整備を予定しています。



学校名	整備予定教室	学校名	整備予定教室
稲 梓 小 学 校	図書室、音楽室	下 田 小 学 校	図書室、音楽室
稲生沢小学校	図書室、音楽室	大賀茂小学校	音楽室
白 浜 小 学 校	図書室、音楽室	朝 日 小 学 校	図書室、音楽室
浜 崎 小 学 校	理科室、家庭科室		



産業厚生委員会所管の主な審査項目を紹介します。



条例改正

下田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

市の介護サービス事業者や介護保険施設の人員、設備、運営等に関する基準等については、国や県の定める基準により条例で定められていますが、令和6年1月に省令が改正、公布されたことに伴う条例改正です。

令和6年度下田市一般会計補正予算（第3号）

**移住・交流居住推進事業
地方就職学生支援補助金 3万円**

東京圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）にキャンパスのある大学に在学する学生が下田市内等で就職活動するためにかかる経費として、東京一下田間の往復交通費の1/2相当（5,940円）の金額を補助するもので、5件分を予算計上しています。



商工業振興事業 空き店舗等活用創業支援事業補助金 250万円

空き店舗の利用を通じて、まちのにぎわいを創造し、もって地域経済の発展に資するため、空き店舗を利用して出店する事業に対し 対象経費（店舗改修費、広告宣伝費）の1/2、最大50万円を補助しています。

令和6年度は、申請・相談が多く、予算不足が見込まれるため5件相当分を増額するものです。

河川維持事業 河川緊急浚渫工事 500万円

準用河川田牛川に堆積した土砂等の除去を行い、河川氾濫等の浸水被害の防止を図るものです。

起業誘致推進事業 デジタルノマド誘致モデル構築業務委託 570万円

「デジタルノマド」とは、IT 関連の仕事をして収入を得ながら長期で旅をするライフスタイルを実践している人々の事をいいます。

デジタルノマドの在留資格が令和 6 年 4 月 1 日に導入・施行されたことから、交流の広がりが期待されています。

下田市がこれまでワーケーション事業により取り組んできた人的ネットワークや受け入れ体制などの資源を活用しながら、デジタルノマドの受け入れに向けた環境及び体制の構築をすることで、新たな関係人口や地域消費の拡大の促進を目指すものです。

この事業は、デジタルノマドを交えたワークショップの開催や、地域コンテンツの造成及び、体験、地域交流イベントの開催などを通し、デジタルノマドとの地域の共創による「グローバル版関係人口」創出モデルを構築するもので、実施期間は、11 月～ 12 月の 1 ヶ月を予定しています。

観光まちづくり推進事業 宿泊業の経営力基盤強化事業補助金 1,050万円

コロナ禍を経て深刻な人手不足に陥る宿泊事業者において、生産性の向上と雇用の安定を図るため、業務効率化や生産性向上の取り組み及び社員寮の整備を県・市町が連携して総合的に支援するものです。

※宿泊業の経営力基盤強化事業補助金の事前相談受付は、令和 6 年 7 月 22 日(月)で終了しました。

【補助率】 補助対象経費の 1/2 を上限（静岡県・下田市各 1/4）

【補助対象事業】

(1) 業務効率化・生産性向上

補助上限	150 万円 / 施設（下限額：10 万円） ※下田市・静岡県各 75 万円 / 施設（下限額：各 5 万円）
想定取組	スマートチェックインシステム導入、システム導入に関わるコンサル活用、配膳ロボットの導入 等
対象経費	システム導入費及びそれに係る機器等購入費、機器設置費用、委託料、工事請負費 等

(2) 従業員の住環境の改善（社員寮の整備）

区 分	更新（躯体工事を含む整備）	改修（居室のリフォーム）
補助上限	400 万円 / 戸（最大 10 戸分まで） ※複数事業者が共同し、社員寮を集約する場合は最大 15 戸まで ※下田市・静岡県各 200 万円	50 万円 / 戸（最大 10 戸まで） ※下限額：20 万円 / 戸 ※下田市・静岡県各 25 万円 （下限額：各 10 万円 / 戸）
想定取組	原則として耐用年数を経過した社員寮の建替	キッチン・トイレ・浴室改修、WiFi 整備等
対象経費	工事費及び工事事務費 ※外壁塗装等居住環境の向上に寄与しない取組は対象外	

市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴ができます。

一般質問

検索



鈴木 孝 議員

- ①総務省が推進する、地域活性化起業人の活動状況及び今後の活用について
- ②下田市の広報活動の現状と今後の展望について



【動画】



東京、大阪、名古屋の3大都市圏の民間企業などに勤める社員を自治体に派遣し、そのノウハウを地方創生に生かす総務省の地域活性化起業人制度が日本全国に広がっています。

この地域活性化企業人制度は3大都市圏の企業の社員らが、会社に籍を置いたままで地方に最長3年間派遣される制度で月の半分以上を派遣先の自治体で勤務するのを条件とし、自治体が派遣元に支払う人件費などの経費には、国からの特別交付税が措置されるものです。

この制度は2014年から開始され、自治体の業務のデジタル化、行政の情報発信、観光振興、地域活性化事業等に寄与していることが、多く報告されています。

小規模自治体では、職員数や予算が限られ、職員だけで専門性の高い事業を進める事が困難であり、積極的にこの起業人制度を使って下田市の課題解決を進めていくべきだと思います。

また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、ロシアのウクライナへの軍事侵攻や円安による物価の上昇の影響により下田市の経済は苦しい状況が続いており、市民の皆様には、今行っている事業がどのような意味を持ち、市長がどのような想いを持って事業を進めているのか、その結果どのような下田市になっていくのかを、的確に伝えることが重要だと感じます。

今後は、SNS等を利用した、動画などの発信を積極的に進めていくべきだと思います。

今後の取組について質問しました。

江田 邦明 議員

- ①攻めの防災について
- ②新しい観光について



【動画】



1. 市役所は令和6年から東本郷と河内庁舎の分庁体制に、令和8年から河内庁舎へ完全移転することを見据え、災害マネジメント強化という「新しい防災」の視点で問いました。

①短・中期的な視点での「攻めの防災」とは、②人・組織のマネジメント強化として防災監や消防署との人事交流の必要性、③防災拠点としての庁舎機能と職員初動マニュアルや職員参集想定、業務継続計画(BCP)の改善点など、④職員参集訓練の実施状況とその検証、⑤事前復興まちづくり計画にも必要な伊豆縦貫道建設発生土を活用した新規平地造成、⑥攻めの防災に

資する既成宅地防災施設設置費助成制度の新設。

2. アフターコロナとインバウンド増加といった環境変化への対応、基準財政需要額に基づく地方交付税に影響を与えない宿泊税の導入、DMO(観光地域づくり法人)の立上げと下田市職員の派遣、現計画の検証と事業実施の財源を踏まえた「観光まちづくり推進計画」の策定、これらの実践こそが次世代の観光立市下田に必要で、「攻めの観光」という視点で問いました。

①ニューツーリズム(着地型観光)が「新しい観光」なのか、②下田市海水浴場に関する条例の見直し、「公の施設」として海水浴場を管理運営するかへの考え。

柏谷 祐也 議員

①持続可能な農業について



【動画】



①農業は生産の場だけでなく、景観の維持や環境の保全など多くの関わりがあり、地域社会の維持においても重要な役割を果たしております。現在、農業従事者の維持、後継者や担い手不足など、様々な課題があり、地域農業を支えている企業の補助事業等も厳しい状況の中、今後の下田市の支援や連携体制について質問しました。

②農業経営基盤強化促進法の改正に伴い令和5年4月より地域農業の未来設計図である人・農地プランが地域計画として法定化され、新たに10年後の農地を1筆ごとに誰が耕作していくのかを図示した目標地図の作成が加わり、

所有者や農地の現況などに関する情報の整理が必要であります。

その「地域計画」の実現に向けた当局の進行状況について質問しました。

③農福連携など農業を通して障がいを抱えた方々も自分らしく生き生きと働ける職場の提供も必要であると考え、地域内の農業や福祉関係者等との関係構築が必要ではないかと質問しました。

④農業の支援には農家の指導、新規就農者の確保、新たな特産品づくりへの挑戦、情報発信、新しいアイデアを生み出すなどの地域おこし協力隊が必要と考え、採用後の隊員に従事していただく活動内容について質問しました。

岡崎 大五 議員

①ハラスメントの対応について
②旧下田グランドホテルの活用について
③グローバルCITYプロジェクトについて



【動画】



①ハラスメントの対応について
近年、様々なハラスメントが社会問題化する中、注目されているのが、カスタマーハラスメントです。その対策として今春から導入された、電話音声案内と、職員の新しい名札について説明を求めました。また市民からのクレームが、施策を捻じ曲げる、ハラスメントにつながるなどの弊害も指摘されており、対策を尋ねました。

②旧下田グランドホテルの活用について

昨年度下田市が取得した旧下田グランドホテルが、議会での議論もないまま、防災公園として整備されようとしています。未来にわたり、市民に数十億円にも上る負担を強いるもので、

観光の町下田ではありえない計画です。今一度ゼロベースに立ち返り、ホテル誘致も踏まえた、市民に負担の少ない計画を練り直すべく、今後の話し合いを求めました。

③グローバルCITYプロジェクトについて

グローバルCITYプロジェクトは、いったい何をやっているのかわからないと市民から多くの声が寄せられています。関連事業があまりに多く理解できないのは、市民だけではありません。プロジェクト自体を見直す時期ではないでしょうか？主要事業である、黒船祭や子供たちの交流事業を含めた姉妹都市ニューポート市との今後の事業計画、SDGs推進事業、ワーケーション事業、エコツーリズム事業について質問しました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴ができます。



沢登英信議員



- ①ごみは燃やさず分別して資源化するために
- ②下田港湾河口の不法係留船の撤去について
- ③自衛隊員募集のための名簿提供の中止を求める



【動画】

①ごみ問題の解決策は、ごみになるものを生産しない、使わないということに尽きます。現時点で市町や住民にできることは、ごみはできる限り燃やさず、分別して資源化することです。

燃やせば必ず有毒ガスが発生し、ダイオキシン等有害物質を含んだ灰が5～10%は発生し、その埋立地である最終処分場が不足してきています。2000年の循環型社会形成推進基本法の制定で、社会の物質循環、資源の消費の抑

制、環境負荷低減のため3Rが求められています。令和4年度実績、家庭排出ごみ量3,857トンに対し、事業系ごみの排出量は3,876トンとなっています。全国平均30%程度に対し下田市では50%を超えています。リサイクル分の601トンを含め総量8,334トン。事業系ごみへの分別、資源化計画を実行しなくては、ごみの減量化、資源化はなし得ません。

②下田港湾河口の不法係留船の撤去について

③自衛隊員募集のための名簿提供の中止を求める

長友くに議員



- ①「消滅可能性自治体」を脱却するために
- ②ゴミ対策の未来を問う
- ③「命を守る防災」にむけて



【動画】

6月定例会では「消滅危険性自治体脱却のために」「ゴミ対策の未来を問う」「命を守る防災」について質問しました。

海山に囲まれ、歴史豊かな下田が消滅の危険に瀕しているのは信じられない、目に見えない「宝物」を生かして下田再生をしていかなければならない。それにはまずシャッター通りをよみがえらせることが必要ではないか、例えば錆の浮いているシャッターに色を塗り公募した絵を描くなどは費用も少なくすぐできるのではないか。本郷橋など欄干が錆びだらけなところも、県や国に交渉して塗りな

おせばそれだけで町のリフレッシュをアピールできるのではないか。

ゴミは燃やす時代は過ぎた。残渣を残さない処分方法やバイオマス発電など、未来志向の処分方法を検討すべき。ばい煙が漂う街に魅力はあるのか、きれいな空気こそ下田の財産ではないのか。

また今すぐ起こってもおかしくない大地震などに、指揮命令系統をしっかりと構築して対応すべきで、東日本大震災直後に閉上（ゆのあが）に行った経験から、武ガ浜の繫留廃船や沈没船の除去は喫緊の課題であると思われる。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴ができます。

4ページから6ページの挿し絵

サーフィン、電車と富士山 下田高校美術部（2年 やまもと りさ 山本理紗）
 移動図書館とクーラー 下田高校美術部（2年 たき ゆうか 瀧 優花）

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

番 号	6月定例会議案件名	柏	大	浜	土	長	天	岡	楠	中	渡	鈴	沢	江	審議結果
		谷	西	岡	屋	友	野	崎	山	村	邊	木	登	田	
報第2号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	-	○	×	○	/	○	○	×	×	承認
報第3号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定居宅介護支援等に係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	-	○	×	○	/	○	○	×	×	承認
報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	-	○	×	○	/	○	○	×	×	承認
報第5号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	-	○	×	○	/	○	○	×	×	承認
報第2号～報第5号の反対意見の要旨 複数の省令改正に伴う条例改正だが、一部の改正省令は3年以上前に公布施行されており、省令の改正ごとに順を追って条例を改正した自治体も多くある。改正内容の重要性からしても、市長は専決処分に至った経緯と謝罪を議会だけでなく、広く市民に伝えるべき。															
報第9号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度下田市一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	×	○	×	○	/	○	○	×	○	承認
主な意見 反対 本来は臨時会を招集して議論されるべきであり、「議会を招集する時間的余裕がない」客観的理由もなく、明らかに地方自治法第179条に反するものと考えられる。 賛成 様々な要因により議会を招集する時間的余裕がなかったものと判断できることから専決処分は妥当。															
議第39号	教育長の任命について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	×	同意
主な意見 反対 新教育長の任期は7月21日からであり、任命権者である現市長の任期は7月4日まで。市長自らの任期外に就任する新教育長を任命することは、その行為の範囲を逸脱していると考えられる。 賛成 人選に問題はなく、教育行政の継続性からも今定例会での選任は妥当。															
議第40号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
主な意見 反対 12月2日施行の案件を6月に議論するのは尚早。全国的な状況も見定めて方向づけすべき。 賛成 すべきことが決定している事項を早期に上程することは何ら問題ない。															
議第43号	令和6年度下田市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
	令和6年度下田市一般会計補正予算(第3号)(修正案)	×	×	×	×	○	×	×	×	/	×	×	○	×	否決
主な意見 修正要旨 伊豆縦貫自動車道建設促進事業に係る土地の不動産鑑定業務に関し、発生土の活用方針が明確でなく、また議会や市民への説明が不十分であるため、委託料を削除すべき。 原案賛成 早期開通に大きな影響を与える発生土の処理、有効活用をするために、議会や住民への説明を丁寧に行いながら計画を進めるにはまず不動産鑑定業務が必要。															

※議長(中村 敦)は、可否同数の採決以外は採決に加わりません。



発行 下田市議会
編集 広報委員会
住所 下田中河内 〇一〇一

TEL 0558-2220
FAX 0558-271511
E-mail: gk@city.shimoda.lg.jp

広報委員会
委員長 鈴木 孝
副委員長 土屋 仁
委員 天野美香 岡崎大五 江田邦明

議会HP



令和6年6月定例会 審議結果

報第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度下田市一般会計補正予算(第7号))	承認
報第2号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
報第3号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定居宅介護支援等に係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
報第5号	専決処分の承認を求めることについて (下田市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
報第6号	専決処分の承認を求めることについて (下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
報第7号	令和5年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議決不要
報第8号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度下田市一般会計補正予算(第1号))	承認
報第9号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度下田市一般会計補正予算(第2号))	承認
議第38号	下田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第39号	教育長の任命について	同意
議第40号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第41号	下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第42号	下田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第43号	令和6年度下田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第44号	令和6年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第45号	令和6年度下田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
発議第4号	補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充を求める意見書の提出について	原案可決
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	
	常任委員会の閉会中の継続調査について	

表紙の情報

表紙写真 下田高校写真部 (2年 ^{はぎわら ましゅう}萩原摩周)

表紙題字 下田高校書道部 (2年 ^{たけうち みゆう}竹内美悠)

6月22日に静岡県東部高等学校写真連盟主催(共催:下田商工会議所)の「高校生@伊豆下田フォトウォーク」に参加したとき、ペリーロード近くの川沿いで撮った1枚です。テーマの「下田の魅力」が伝わるように、観光客の方に声をかけて撮らせていただきました。また、縦位置にするなど構図にも気をつけて、工夫して撮りました。参加者の投票で同世代の人たちに選んでもらって1位になって嬉しかったし、自信になりました。

【萩原摩周】

編集後記

「議会だより」に目を通して頂き、本当にありがとうございます。

本誌を発行する目的のひとつとして、議会の様子を分かりやすく伝え、市政を身近に感じてもらう事があげられると思います。

政治への関心が薄くなりつつある今、議員の活動レポートとして掲載した、議会運営のデジタル化、小学校の社会科事業への議員の参加などの活動も、分かりやすく、身近な議会を目指すための活動と捉え、更に進めたいと思います。(鈴)

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記(欄外記載の連絡先)までお寄せください。



- この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
- この広報誌は、再生紙を使用しています。